

お店や施設の入口に、
このシールを貼ってもらえると、
とてもうれしいです!



もっと知って 「ほじょ犬」のこと

「ほじょ犬(身体障がい者補助犬)」とは、目や耳や手足に障がいのある方の生活をお手伝いする、「盲導犬」・「聴導犬」・「介助犬」のことです。

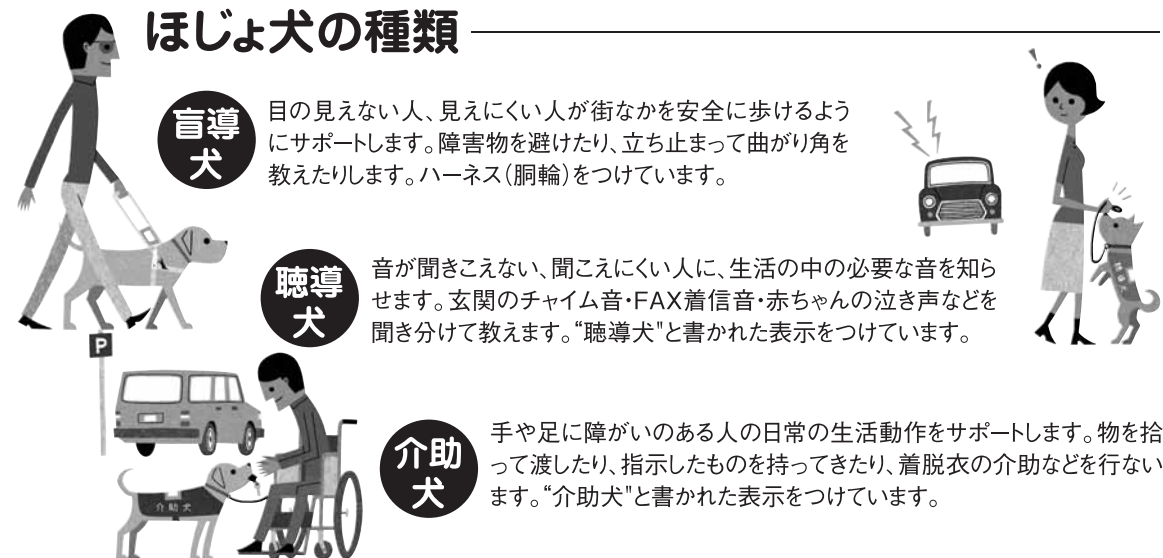
「身体障害者補助犬法」に基づき認定された犬で、特別な訓練を受けています。障がいのある方のパートナーであり、ペットではありません。

きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れますし、清潔です。

だからこそ、人が立ち入ることのできるさまざまな場所に同伴できます。

ほじょ犬は身体に障がいのある方の自立と社会参加に欠かせません。

ほじょ犬のことをもっと知って、ほじょ犬ユーザーとほじょ犬を社会の仲間として受け入れてください。



盲導犬

目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角を教えたりします。ハーネス(胴輪)をつけています。

聴導犬

音が聞きこえない、聞こえにくい人に、生活の中の必要な音を知らせます。玄関のチャイム音・FAX着信音・赤ちゃんの泣き声などを聞き分けて教えます。“聴導犬”と書かれた表示をつけています。

介助犬

手や足に障がいのある人の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着脱衣の介助などを行いません。“介助犬”と書かれた表示をつけています。

ほじょ犬ユーザーとほじょ犬はどこでも一緒

ほじょ犬の同伴については、「身体障害者補助犬法」で、人が立ち入ることのできるさまざまな場所で受け入れるよう義務づけられています。「犬だから」という理由で受け入れを拒否しないでください。

●ほじょ犬の同伴を受け入れる「義務」があるのは以下の場所です。

- 国や地方公共団体などが管理する公共施設
- 公共交通機関…電車、バス、タクシーなど
- 不特定かつ多数の人が利用する民間施設…商業施設、飲食店、病院、ホテルなど
- 事務所(職場)…国や地方公共団体などの事務所、従業員50人以上の民間企業

●ほじょ犬の同伴を受け入れる「努力」をする必要があるのは以下の場所です。

- 事務所(職場)…従業員50人未満の民間企業
- 民間住宅

(出典:厚生労働省)